

憲法九条の会・岩岡 ニュース 第97号

2015・11・1発行

発行人 堀口照美／編集人 白井篤子

神戸市民必見

「映像'15 よみがえる最前線～神戸と核と“日米同盟”」上映と、被爆者の貞清百合子さん(灘区在住)のお話&恒例のバザーを行います

ぜひご参加下さい。

と き：11月21日(土)

13:00～バザー

13:30～DVD上映

14:20ごろ～貞清百合子さんのお話(約30分)

16:00閉会

ところ：岩岡連絡所多目的ホール(大)

参加費：無料



番組ディレクター、坪井兵輔さんと
貞清百合子さん(10月17日)

神戸YWCAピースブリッジ学習会が灘区の神戸青年学生センターで行われ(10月17日)、上記DVDの上映と、番組ディレクター、坪井兵輔さんのお話がありました。

坪井兵輔さんのお話(要旨)

ドキュメンタリの制作は通常は半年、短くて3ヶ月かかります。取材は30回から50回行いますが、取材される方は大変で非常なご負担をおかけします。この番組で回したテープは100時間分、それを切って49分にまとめましたが、こんな残酷で僭越な作業が許されるのかと思いながら編集しました。

「非核神戸方式」は残念ながら法的な裏付けがありません。法律でも条令でもない、市議会の決議です。現在の神戸市には公に応援しようという気運はありません。

特定秘密保護法ができて、米軍基地の取材や潜水艦の進水式の取材は、メディアとしてはおそらく最後だと言われています。来年3月「安全保障法制(戦争法)」が施行されると番組の取材は違法行為になります。

日本で唯一潜水艦を建造できるのが神戸ですが、神戸は武器輸出の最前線になろうとしています。防衛産業というのは非常にすそ野が広くて、イーゼス艦だと下請けが2500社、孫請け、孫孫請けになると3000から4000のメーカー、企業、一般個人が武器の製造に携わります。神戸は原爆投下の目標地にされたほど軍事と極めて密接な関係がありました。

武器輸出三原則は、1967(昭和42)年、佐藤栄作首相のとき、共産国、国連の決議で決められた武器の禁輸国、国際紛争の当事国への武器輸出を禁止したのですが、1976(昭和51)年、三木首相は「憲法の精神に則って」武器輸出はすべてやめました。その後中曽根、民主・野田政権は三原則そのものを事実上緩和し、昨年4月1日、安倍政権は武器輸出三原則に代わる新たな政府方針「防衛整備移転三原則」で、武器の輸出入を基本的に認め、今年10月1日、防衛整備庁が発足しました。

アメリカの原子力潜水艦には、1個が広島型原爆の30倍の威力を持つ核弾頭を14個装備したミサイルが24発積載されています。その建造、修理にあたるのが神戸だということで、一隻530億円、日本にとってはビジネスチャンスだと経団連会長も声明を発表しています。

神戸の埋め立て地に医療産業都市がありますが、これはアメリカのベクトル社が構想したもので、神戸市は同社に1億円支払っています。ロスアラモス研究所を持ち、原爆投下の実験を行った会社ですが、今一番力を入れているのが、相手のミサイルを撃ち落とすミサイル防衛で、マーシャル諸島に基地を作っています。安倍政権も2兆円の予算を組んで力を入れています。核で核を否定する、より使える核を開発するという、軍拡競争を招くものです。「防衛」という言葉にだまされないようにしなければなりません。

1954年、ビキニ事件*が起こった時、杉並区の主婦が始めた3000万の署名がアメリカの世論を動かし、日本に対する核戦略を変えたように、世論を作るのは市民であり、「事実」です。今後も「事実をして語らしめる」報道に徹したい。

*ビキニ事件…アメリカが1954年3～5月、太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁で行った水爆実験で多くの船や現地住民らが被曝した事件。3月1日の1回目の爆発で被曝した焼津港所属のマグロはえ縄漁船、第五福竜丸の無線長、久保山愛吉さん（当時40）が半年後に死去。事件は、原水爆禁止を求める運動が世界に広まる契機になった。

バザーにご協力下さい

「憲法9条の会・岩岡」の資金づくりのために毎年バザーを行っています。よい品が大変安く手に入るとご参加の皆さんに喜ばれています。今年も森岡怜子さんがご協力下さることになっています。ご提供いただける品は、当日ご持参いただき、ご自分で値段をつけて値札のところに置いて下さい。お近くの世話人にお届け下さってもかまいません。ご協力よろしくお願い致します。

「一日陶芸教室」、お茶会にご参加の皆さん、ありがとうございました。

「憲法9条の会・岩岡」会長・堀口照美



10月23日（金）午後、「憲法9条の会・岩岡」、年金者組合岩岡分会、医療生協岩岡支部3団体で、お茶会を開きました。「一日陶芸教室」に参加されなかった方や、合唱団「ららら」の皆さんも合わせ、20数名の方に参加していただきました。

できあがった作品を手に、ひと

しきりしゃべった後、「ららら」の皆さんのすばらしい歌声でオープン。「この木なんの木」など3曲歌っていただきました。3団体それぞれが会の紹介をした後、「憲法9条の会・岩岡」会長、堀口照美さんの司会でフリートーク。作品を作ったの感想や3団体に望むことなど自由に話していただきました。「一日陶芸教室」は大変好評で来年もやって欲しいという声が多く出されました。

催し物のお知らせ

①神戸憲法集会 —戦後70年、日本国憲法の値打ちを学ぶ—

と き：2015年11月3日（火・祝） 12：30開場 13：30開演

と ころ：西区民センター なでしこホール（市営地下鉄「西神中央駅」すぐ）

資料代：1,000円（学生500円） 保育あり

演劇「憲法が起きるまで」劇団あすわかひょうご

講演「70歳を前に躍動する憲法」吉田維一さん（弁護士・兵庫県弁護士会 憲法問題委員会委員長）

報告「沖縄と辺野古と憲法」後藤浩さん（安保破棄兵庫県実行委員会事務局長）

主催：神戸憲法集会実行委員会

②9周年記念行事、長野への小旅行（1泊2日）

「安曇野ちひろ美術館」、戦没画学生慰霊美術館「無名館」、「信濃デッサン館」見学を予定しています。参加ご希望の方は事務局までご連絡下さい（10名以上の参加で実施）。

と き：2016年4月18日（月）～19日（火）（予定）

参加費は、参加人数によって異なりますので、大体の参加者数がわかり次第お知らせします。電車で長野まで行き、現地ではマイクロバスを利用する予定です。

第94回世話人会

と き：2015年11月21日（土）16:00～DVD上映と講演、バザー終了後

と ころ：岩岡連絡所多目的ホール（大）

「戦争法」廃止をめざして、情勢の学習と会の活動について話し合います。

